

# 第3学年3組 国語科学習活動案

男子17名 女子15名 計32名

場所 3年3組教室

授業者 黄木 博夫

## 1 単元名 3-3すがたをかえる食べ物事典をつくろう (せつめいのくふうについて話し合おう)

### 2 3年3組の子どもたち

本学級の子どもたちは、国語の「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」で説明文について学習し、段落を意識して学習をした。作文を書く時は構想メモを書き、順序を考え、段落を分けて書くようにしているが、時間の流れに沿って書くことが多く、どの順序で書いたら効果的か考えて書くことは少ない。また、つなぎ言葉については、どのようなつなぎ言葉があるかやつなぎ言葉の役割についての理解は、まだ不十分である。

授業では、自分の考えをしっかりとって授業に参加し、自分の考えと友達の考えの違いや良さに気をつけて聞くことを大切に学習に取り組んでいる。相手の話を聞き、自分の考えと同じところやちがうところに気をつけて聞くことで、自分とちがう考えがわかり、考えが深まることを実感している。しかし、人の話を聞いて、相手の話の内容が分からなくても聞き返さずにいる子もいるので、よくわからない時はわかるまで聞き返すように指導している。

また、自分の考えを発表する時に、根拠をはっきりさせて考えを言うことができない子もいるので、根拠のある発表の仕方について学習を深めているところである。

さらに、友達と考えを伝え合う時には、同じ考えや似た考えにも「〇〇さんの考えに似ていて・・・」など自分の言葉で付け足していくことで、より高まりのある考えを表現できるように学習している。

学習のふり返りでは、黒板やノート、教科書を見ながら、大事な言葉を使って自分の言葉で学習のふり返りが書けるように学習している。大事な言葉は何か考えてふり返りを書くことで、今日の授業で学んだことを意識できるようになってきている。

### 3 教材について

本教材は、大豆やその加工食品について書かれたもので、児童にも身近なものである。ただ、大豆の加工食品は、見ただけでは原料が大豆とは分からないものも多く、児童にとっては新鮮な驚きをもたらすと考えられる。自分の食生活や日本の食文化を見つめ直すことにつながり、食育という観点からも貴重な題材である。

「すがたをかえる大豆」は、大豆をおいしく食べるための工夫を五つの例で説明している典型的な解説型の文章である。まずは、「初め」「中」「終わり」の全体の組み立てを読み取っていく。「中」の段落は、並列の関係にあり、各段落の説明の中心になる文に着目することで、段落相互の関係を捉えさせたい。

また、「いちばん分かりやすいのは」「さらに」などのつなぎ言葉を細かく読み取ることで、事例が提示される順番について考えて、形がわかるものから形がかわり気づきにくいものの順で説明されていることやどうしてそのように書いたのかについて考えていきたい。

各事例の段落の並び方や、事例ごとに写真と文章が対応していることなど、「すがたをかえる大豆」には、さまざまな点で、読者に内容を分かりやすく伝えるための説明の工夫が見られる。説明の工夫について考えをまとめ、自分が書く「すがたをかえる食べ物事典」を書く時に活用できるようにしたい。

#### 4 子ども中心の単元づくりを目指して

##### (1) 単元の目標

- ・文章の内容に関心を持ち、文章構成を理解しながら分かりやすい説明の仕方のポイントを見つけようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、段落相互の関係などに注意しながら、段落を分けて文章を書くことができる。(書くこと)
- ・中心となる文や大事な言葉に気をつけ、段落相互の関係を考え、文章を読むことができる。(読むこと)
- ・接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解して使うことができる。(伝国)

##### (2) 単元構成について

3年生になると、正確な読み取りだけでなく、自分にとって必要な情報を収集しようという読みの力・欲求も増してくる。本単元では、児童にとって、これからさらに必要とされる正確な読みの力を高めていくために、説明の仕方のポイントを見つけ、そのポイントについて話し合う活動を取り入れていく。

初めに、大豆を使った食品の実物や写真を提示して、大豆はさまざまな食品にすがたを変えることに気づくようにする。そして、学習した説明の仕方のポイントを生かして、大豆のようにすがたを変える食べ物事典を作るという学習課題を考え、学習計画を立てるようにする。そして、学習したことを自分の食べ物事典に生かしていこうという目的意識を持ち、ゴールの食べ物事典を作ることを考えながら学習できるようにする。

次に、「初め」「中」「終わり」というまとまりに分け、「初め」「終わり」の役割について考える。そして、「中」の各段落の説明の仕方のポイントについて考え、最初の文が、説明の中心になる文になっていることや、説明の順番やつなぎ言葉の工夫、写真の使い方などについて気づくことができるようにする。

また、他の食べ物を扱った本を読み、説明の仕方のポイントについて、本単元で学習したことと比べてみることで、理解を深めるようにしたい。

最後に、「すがたをかえる大豆」で学習した説明の仕方のポイントを生かして自分の食べ物事典の説明文を書くようにする。

学習後のふり返りでは、キーワードを使った感想をもつことができるようにする。キーワードを使った感想を書くことで、本時の学習内容について理解を深めることができ、説明の仕方のポイントを増やしていくことができると考える。

##### (3) 目指す子どもの姿にせまるための手立て

###### ①学習課題に自分事として取り組んでいる子ども（自分事）

###### ・学習計画を拡大掲示

自分たちで考えた学習計画を拡大掲示し、学習の流れがわかりやすいようにする。自分だけのすがたをかえる食べ物事典をつくるという目的を明確にして、意欲をつなげていけるようにする。

###### ・文章全体の組み立てを拡大掲示

授業では、本時で学習する文章全体の組み立てを拡大掲示し、学習したことを記入することで、「初め」「中」「終わり」の段落構成や説明の工夫、つなぎ言葉がわかりやすいようにする。

###### ・ふりかえりの工夫

今日の学習のふり返りでは、キーワード（本時の学習の大事な言葉）を使ってわかったことや友だちの考えのいいところをノートに書くことができるように意識づけていく。キーワードは、ふり返りを書く前に子どもたちと確認するようにする。

②自分の考えを伝え合っている子ども（伝え合う）

・交流のしかたの工夫

ペアでの交流やグループ交流、自由交流など、必要に応じて交流をすることで、いろいろな友だちの考えを聞き、自分の考えとの違いに気づくことができるようにする。自分の考えを整理したり、友だちに相談したりできることが気軽にできる環境を作り、すぐに相談できるようにしていきたい。

・深い学びや考えの伝え方の工夫

自分の考えと友だちの考えをくらべたり、考えをつないだりすることで、自分の考えを深めていくことができるようにする。そのために、自分が納得できるまで聞いたり、問い返したりすることを大切にできるようにする。また、自分の考えを表現しにくい子どもには、教師が注意して見取り、考えを発表することができるように意識して指名をするような支援をしていくようにする。

(4) 予想される子どもの学び（15時間扱い：本時5時間目）

時	学習活動（○）と予想される子どもの反応（・）	主な留意点（・）と評価（◇）
1	<p>○大豆を使った食品は何があるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とうふだと思います。</li> <li>・納豆だと思います。</li> </ul> <p>○「すがたをかえる大豆」を通読しておおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆を使った食品はいろいろあるんだな。</li> </ul> <p>○大豆に手を加えるときの言葉「いる」「にる」のような言葉や意味のわからない言葉を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆を使った食品の実物や写真を見せて、大豆についてのイメージをもつことができるようにする。</li> <li>・大豆を使った食品を手がかりに、内容の大体を捉えることができるようにする。</li> <li>・意味のわからない言葉を調べ、内容の理解を深める。</li> </ul> <p>◇文章を通読して、大豆に手を加えるときの言葉や意味のわからない言葉を国語辞典で調べることができる。 (伝国)</p>
2	<p>○大豆以外にすがたをかえる食品はないか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳、米などがあるな。</li> </ul> <p>○「3-3すがたをかえる食べ物事典を作ろう」という学習課題を考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳の食べ物事典を作りたいな。</li> <li>・「すがたをかえる大豆」の文を読み、説明の仕方のポイントを見つけ、自分の食べ物事典に学習したことを生かしたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すがたをかえる食品は、身近な食品にたくさんあることに気づかせ、すがたをかえる食べ物事典を書いてみたいという意欲を高める。</li> <li>・学習課題「3-3すがたをかえる食べ物事典を作ろう」を設定し、学習計画を立てる。</li> <li>・教師が提示した例の中から選んで自分の食べ物事典の題材を決める。</li> </ul> <p>◇文章を通読して、おおまかな内容を捉え、学習課題を考えることができる。 (関心・意欲・態度)</p>
3	<p>○段落分けを確かめ、文章全体の組み立てを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」「中」「終わり」に分かれているな。</li> </ul> <p>○「初め」と「終わり」を読んで、内容を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」には、大豆がいろいろな姿で食べ方の工夫がされてきた理由が書かれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」「中」「終わり」の役割について考える。</li> <li>・「問い」について考えることで、文章全体の話題を捉えて読み進めることができるようにする。</li> </ul>

<p>4</p> <p>5 (本時)</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「終わり」には、筆者の感想が書かれている。</li> <li>○「問い」がないことについて考え、「初め」の役割と文章全体の話題を捉える。</li> <li>・どのような工夫があるかという「問い」になるのかな。</li> </ul> <p>○大豆をおいしく食べる工夫と具体例を整理して、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」には、大豆をおいしく食べる工夫が書いてある。</li> <li>・最初の文が中心文だ。</li> </ul> <p>○「中」を読んで、分かりやすい説明の仕方のポイントについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順番は、形がわかるものから気づきにくいものの順に書いてある。</li> <li>・つなぎ言葉は、「次に」「また」の方がわかりやすくいいと思う。</li> </ul> <p>○大事な部分が伝わるように読むためにはどうしたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心文や大事な言葉を強くはっきり読むと分かりやすいな。</li> </ul> <p>○写真の使い方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に合う写真が使っていると分かりやすい。</li> </ul> <p>○「すがたをかえる大豆」の説明の仕方のポイントを話し合っまとめて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる文を段落の最初に書いている。</li> <li>・説明する順番に気をつけている。</li> <li>・つなぎ言葉を工夫している。</li> <li>・写真を使うと分かりやすい。</li> </ul> <p>○他の食べ物を扱った本の内容や説明の仕方のポイントについて感想を話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した説明の仕方のポイントと同じだな。</li> </ul>	<p>◇「初め」「中」「終わり」の全体構成を捉えることができる。 (読むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習教材の「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」等をふり返らせ、問いの文を考えることができるようにする。</li> </ul> <p>◇「問い」について考えることで話題を適切に捉え、各段落の内容をまとめることができる。 (読むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆を加工するときに使われる言葉に注意しながら、各段落でどんな工夫が書いてあるかを捉えることができるようにする。</li> <li>・中心文が最初にあることを確認し、その分かりやすさに気づくようにする。</li> <li>・それぞれの段落に出てくる食品をまとめ、「初め」「中」「終わり」に分ける。</li> </ul> <p>◇段落の中心となる文を捉えることができる。 (読むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を挙げる順番も文章の工夫であることを捉えることができるようにする。</li> <li>・つなぎ言葉の使い方の工夫を考えることができる。</li> </ul> <p>◇説明の順番やつなぎ言葉の使い方などのわかりやすい説明のしかたのポイントについて考えることができる。 (読むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の中心文や大豆からできる食品を強くはっきり読むとわかりやすいことに気づくことができるようにする。</li> </ul> <p>◇内容が伝わるように工夫して音読することができる。 (読むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P38「絵や写真を使ってせつめいする」を読んで、写真の使われ方を整理する。</li> </ul> <p>◇写真の役割について考えることができる。 (読むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまで文章を読んで考えてきた説明の仕方のポイントを、グループで話し合いながらまとめる。</li> </ul> <p>◇説明の仕方のポイントについてまとめることができる。 (書くこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で使われていた説明の仕方のポイントと本で説明されていることを比べてみる。</li> </ul>
---	---	---

	<p>○単元の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の仕方のポイントが分かった。自分が食べ物事典を書くときに使いたいな。</li> </ul>	<p>◇他の本を読んで、説明の仕方のポイントを見つけることができる。 (読むこと)</p>
9	<p>○調べる題材について、本やインターネットで調べて図や表に整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことをグループで整理する。</li> <li>・図や表に整理すると分かりやすいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる時は、カードを利用し必要なことをメモする。</li> <li>・調べたカードは、グループで話し合って整理するようにする。</li> </ul> <p>◇必要になる事項と観点を理解し、取材することができる。 (書くこと)</p>
10	<p>○「すがたをかえる大豆」の学習で学んだ説明の仕方のポイントを生かして、自分の食べ物事典の組み立てを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する順番を考えて組み立てを考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」「中」「終わり」の構成を考え、「中」の部分の例の挙げ方について、段落の分け方や順番などを考えることができるようにする。</li> <li>・3つ以上の例を挙げて書くようにする。</li> </ul> <p>◇分かりやすく説明する文章の書き方をふまえ、「初め」「中」「終わり」の構成で組み立てを考えることができる。 (書くこと)</p>
11	<p>○組み立てにそって下書きを書き、推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」のまとまりの例はもっと分かりやすく書くといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した構成や接続語などを参考に書くようにする。</li> </ul> <p>◇適切に事例を挙げて、食べ物事典を書くことができる。 (書くこと)</p>
12	<p>○グループの友だちと食べ物事典を読み合って、助言し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順番が分かりやすいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの食べ物事典を読んで良い所や直した方がよい所を助言し合う。</li> </ul> <p>◇分かりやすい説明の仕方のポイントを意識して、互いに助言をし合うことができる。 (関心・意欲・態度)</p>
13	<p>○友だちのアドバイスをいかしながら食べ物事典を清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのアドバイスをいかして、つなぎ言葉に気をつけて清書しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのアドバイスをいかして清書するようにする。</li> </ul> <p>◇「中」で内容のまとまりごとに段落を分け、理由や事例を挙げて食べ物事典を書くことができる。</p>
14	<p>○いろいろな友だちとたがいに読み合い、説明の仕方のポイントについて交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○君は、説明が分かりやすくいいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの説明の良さについて気づいたことをプリントに書いて交流する。</li> </ul> <p>◇互いの書き方を比べ、上手に説明している人に気づくことができる。 (関心・意欲・態度)</p>
15	<p>○学習のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した説明の仕方のポイントを自分の食べ物事典に生かすことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で学んだことを生かして自分の食べ物事典を書くことができたかふりかえりをする。</li> </ul> <p>◇学習で学んだ分かりやすい説明の仕方のポイントを生かして食べ物事典を書くことができたかふりかえることができる。 (書くこと)</p>

## 5 本時の学習（5 / 15時間）

### （1）目標

「中」の段落の内容を読み取り、説明の順番の工夫やつなぎ言葉の使い方の分かりやすい説明の仕方のポイントを考えることができる。

### （2）本時で求める姿

- ・「中」の段落の内容を読み取り、説明の順番の工夫やつなぎ言葉の使い方のわかりやすい説明の仕方のポイントを考え、発言することができる姿（自分事）
- ・自分の考えと友だちの考えをくらべたり、考えをつないだりすることで、自分の考えを深めることができる姿（伝え合う）

学習活動と主な発問(○) 予想される子どもの姿(・)	主な留意点や支援(・) と評価(◇)
<p>1. 本時の課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「中」を読んで、自分の食べ物事典に使えるわかりやすいせつめいのしかたのポイントを見つけよう。</p> </div> <p>○前の時間は、「中」をくわしく読み、どんなことが説明されているのか読み取りました。今日は、わかりやすい説明の仕方のポイントを見つけ、自分が食べ物事典を書く時に生かせるようにしましょう。</p> <p>2. 自分が見つけたわかりやすい説明の仕方のポイントを発表し、その良さについて話し合う。</p> <p>○各グループで話し合しましょう。</p> <p>○説明の順番について各グループの考えを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形がわかるものから形がわかりにくいものや小さな生物の力をかりているものの順に書いています。だんだん形が変わっていくのでわかりやすいです。</li> </ul> <p>○どうしてこの順番で説明したのでしょうか。③段落と⑤段落を入れ替えてもいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形がわかるものから説明していると思います。</li> <li>・形がわからないとうふの話になると、難しい感じがするので、入れ替えない方がよいと思います。</li> </ul> <p>○段落の始まりに順番を表す「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」「さらに」が使われていますね。でも、順番を表すなら、「一つ目は」「二つ目は」でもいいのではないですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた説明の仕方のポイントを自分の食べ物事典を書く時に生かすということで意欲を高めるようにする。</li> <li>・本時の課題を知り、学習への見通しを持って活動できるようにする。</li> <li>・つなぎ言葉のない「中」の部分を拡大コピーした紙を掲示し、児童が考えやすいようにし、児童の発表を記入していくようにする。</li> <li>・グループで話し合いながら、「中」を読み、大豆おいしく食べるための工夫が説明されている順番やつなぎ言葉の使い方などの説明の仕方のポイントについて考える。</li> <li>・つなぎ言葉のない「中」の部分を拡大コピーした紙に大事な言葉に赤線を引いていく。</li> <li>・理由を考えるときに、題名の「すがたをかえる」という言葉に着目し、説明の順番には形が分かるもの・身近なもの・加工が単純なものから、形がわからないもの・意外なもの・加工が複雑なものへと展開されていることに気づくことができるようにする。</li> <li>・作者の考えた順番の良さについて自分の言葉で表現することができるようにする。</li> <li>・教師が順序を変えたつなぎ言葉のない「中」の段落を掲示して、順番を考えるようにする。</li> <li>・つなぎ言葉のない「中」の部分を拡大コピーした紙の順序を変えて掲示して考えるようにする。</li> <li>・「一つ目は」「二つ目は」は並列で、「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」は段階が上がって行くという、その違いや効果に気づくことができるようにする。</li> </ul>

<p>○各グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つ目は」「二つ目は」は並べていて、「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」はだんだん変わっていく様子がわかるので分かりやすいです。</li> </ul> <p>○各グループの考えを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つ目は」「二つ目は」よりも、「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」のほうがよいと思います。「いちばん分かりやすいもの」から、「次に」「また」「さらに」と、どんどんちがうものになっていくのが分かりやすいからです。</li> </ul> <p>4. 今日の学習で自分の食べ物事典に生かせることや、本時のふり返りをノートに書く。</p> <p>○今日の学習で分かった説明の仕方のポイントや友達の考えのよさをふり返りに書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順番は、形がわかるものから形がわかりにくいものの順に書いていった方がわかりやすいことがわかりました。</li> <li>・○○さんの考えがわかりやすかったです。</li> </ul> <p>5. 本時をふり返り、次時への見通しをもつ。</p> <p>○次の時間は、わかりやすく伝えるための工夫が他にないか考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぎ言葉を変えることで、文のつながりがどうなるか実際にやってみることで、説明の工夫に気づくことができるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが気づかない時は、教師が「一つ目は」「二つ目は」を使った例文を出してその違いや効果に気づくことができるようにする。</li> <li>・「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」「さらに」のつなぎ言葉の効果について気づくことができるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり返りを書く時のキーワードは何か、子どもたちと確認をする。</li> <li>・本時のキーワードは、 <ul style="list-style-type: none"> <li>①説明の順番の工夫</li> <li>②つなぎ言葉の使い方</li> <li>③なるほどなと思ったこと</li> </ul> などが考えられる。</li> <li>・本時の学習内容に沿ったふり返りを書くことができるようにする。</li> </ul> <p>◇説明の順番やつなぎ言葉の使い方などのわかりやすい説明のしかたのポイントについて考えることができたか。</p> <p>(観察・発言・プリント)</p>
---	--